

校訓	盡 己	令和6年度学校通信 「松中だより」 第18号	発行日	和6年12月25日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【2学期 終業式 学校長講話】

2学期の終業式を迎えました。みなさんどんな2学期でしたか？

私も先ほどの代表生徒のみなさんと同じように多くの行事が印象に残っています。特に50周年記念式典は、生徒実行委員会のみなさんが中心となって進めてくれ、「感謝とこれからの方向性を示す」という目的が達成できたという点で、強く印象に残っています。

さて、この2学期の間、個人的に夢中になっていたことがあります。それは、NHKで放送された「宙わたる教室」というドラマです。原作本があり、見た人、読んだ人もいるかもしれません。ストーリーを少し紹介します。

東京・新宿にある都立高校の定時制。そこにはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っていた。

ディスレクシアという特性を持ち、負のスパイラルから抜け出せない21歳の男子生徒。

外国籍の親が不法滞在のため学校に通えなかった40歳の女性。

起立性調節障害で不登校になり、定時制に進学した女子。

中学を出てすぐ東京で集団就職した70代の男性。

「もう一度学校に通いたい」という思いのもとに集った生徒たちは、科学部を結成し、学会で発表することを目標に、「火星のクレーター」を再現する実験を始める・・・

ドラマの中で先生はこう言います。

「ここは（定時制高校は）、あきらめたものを取り戻す場所ですよ」

「私たちに、限界なんてありません。「学ぶこと」に、遅すぎることはないですよ。一つの小さな成功は、新しい挑戦へのエネルギーになりますよ。」

人間誰しも生きてると、しんどいこと、つらいこと、上手くいかないことはあります。むしろ、順調に、思い通りに生きている人の方が少ないと思います。でも、自分の未来を信じて、歯を食いしばって、何度も何度もやり直していくことが希望につながるのかもしれません。

3年生のみなさん、いよいよこれからが大変な時期だと思います。

ひょっとして、今の自分に諦めている人はいませんか？「やり直そう」と思ったときにチャンスです。スタートです。頑張ってください。

最後に、ここに来て、インフルエンザが猛威を振るっています。しっかり健康管理をして、1月7日の始業式にはみなさんと元気に会えることを楽しみにしています。以上で私の2学期終業式の話进行ります。

【校長 押し本】



「宇宙わたる教室」
伊予原 新 著
文藝春秋 社



【今年の〇〇】

今年の漢字（日本漢字能力検定協会）

- | | | |
|----|---|--------------------|
| 1位 | 金 | 金メダル 裏金 佐渡金山 |
| 2位 | 災 | 能登半島地震・豪雨 日航機衝突 |
| 3位 | 翔 | 大谷翔平 |
| 4位 | 震 | 能登半島地震 南海トラフ臨時地震情報 |
| 5位 | 新 | 新紙幣 新首相 |

今年の一皿（ぐるなび）

「うなぎ」 完全養殖技術の進歩 専門店増加



辞書を編む人が選ぶ今年の新語（三省堂）

- 「言語化」・・・例 「うまく言語化できないんだけど」
- 「横転」・・・例 「推しがかわいすぎて横転（ずっこけ）」
- 「インプレ」・・・インプレゾンビより
- 「しごでき」・・・「仕事ができる」の略
- 「スキマバイト」・・・空いた時間のバイト

食トレンド2024（クックパッド）

- 「こねないパン」 こねない 無発酵 お手軽手作りパン
- 「パリおにぎり」 パリでおにぎりブーム
- 「カニカマ 魚肉ソーセージ」 豚肉高騰による魚肉練り物

良いお年を！！